

League communication EHIME

連盟 あいひめ

[発行所]

愛媛県看護連盟

松山市道後町2丁目11-14

TEL(089)923-1595

発行責任者 吉田 昭枝

8月10日 石田議員が被災地訪問

石田議員は8月10日8時に現地入りをし、被災地を訪問しました。
現地では、12の病院を視察されました。



会長 吉田 昭枝

会員のみなさま、日頃より連盟活動にご協力くださりましてありがとうございます。

今年は7月の西日本豪雨災害に始まり、21号台風、北海道の地震と日本列島が災害にさらされました。被害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。

西日本の豪雨では、特に南予地方の被害が大きく連盟会員の41名が家屋倒壊、半壊、床上浸水の被害に遭われました。8月10日、石田まさひろ参議院議員と一緒に12施設の視察に参りました。一時期の混乱は収まりつつも復旧にはまだまだ時間がかかる状況でした。各施設の看護部長さん達は患者を守り、職員を守ることに尽力されていました。

大変な状況の中、視察に行ったお礼の言葉があり、頭の下がる思いがしました。石田まさひろ議員は、一人一人の声に耳を傾け励ましの言葉を掛けられました。温かく力強い石田議員の握手に誰もが励まされました。

私事です、8月19日肱川の「風の博物館・歌麿館」、9月16日大洲の「愛たい彩」に行ってきました。肱川に行く道中では、10日の訪問時に気づかなかった町の被災状況を目にしました。大洲では閉じられたままの店舗がある中、「がんぼう大洲」の旗が力強く風になびいていました。

今後も復興の道は長く続きます。私たちは、被災された方々と共に今後も長く復興のお手伝いをしなければいけないと思います。

8月10日石田昌宏議員視察訪問の報告

南予第三支部幹事長 土居 敦子

当日は7月7日発生した西日本豪雨災害を受けて大洲市4病院、西予市2病院、宇和島市6病院を訪問する強行スケジュールで出発、その中でも大きな被害を受けた大洲市、西予市野村町、宇和島市吉田町の病院では施設損害のみならず職員の被災報告も受けました。

喜多医師会病院では新病院移転準備と重なり、水が迫る中で職員たちが新病院への浸水回避に奮闘された様子を聞き、大洲記念病院では玄関を入ると同時に一階の浸水被害を直接目の当たりにして災害の大きさを体感しましたが、両病院ともに被災直後から地域医療再開への努力をされている姿に頼もしさを感じました。

野村病院は直ちに災害対策本部を設置し、検死の受け入れや在宅酸素療法患者の状況把握を行い、猛暑続きの中ボランティアが熱中症や外傷で多数受診し、1日の外来患者数が500名近い日もあったそうです。また、家屋が全壊した職員2名が今も避難所暮らしをしながら出勤しているとの報告を受け、過酷な状況に一同胸が詰まる場面もありました。避難所に隣接して駐留していた自衛隊員は、避難所の子供たちの遊び相手もしてもらったそうで、避難されている方からは「自衛隊の引き上げが近づき寂しい」との声が上がっているそうです。全国各地からのボランティア、自衛隊、消防隊がいかに頼りになる存在だったかを改めて知らされました。

宇和島市は一番被害が大きかった吉田町を支援するために各病院が協力し、特に市立宇和島病院は南予の中核病院として周辺施設への支援の役割を担っており、集まって頂いた多くの看護師からの熱心な質問や報告からも熱意が伝わってきました。

石田議員は移動途中で車から降りて自分の目で鹿野川ダムと野村ダム、被災現場の惨状を確認され、その後ろ姿に「しっかりと受け止めた」という頼もしさを感じました。また後日、各訪問先から石田議員と吉田会長から力強い協力支援とアドバイスを受け、パワーを貰ったとの評価も頂きました。今回訪問した全ての施設では、看護師としての強い使命感を持って災害に立ち向かう会員の皆様の姿が印象的でした。当日ご協力いただいた各施設にお礼申し上げます。

7月豪雨災害における活動を通して

ICT (感染対策チーム) 活動

市立宇和島病院 感染管理認定看護師 酒井 京子

今回当院にDMAT本部が立ち上がり、ICTに地域の感染対策の介入依頼を受けた。災害より3日目に訪問した避難所は、断水と泥による汚染で施設内やトイレの衛生環境が悪化し、掃除のための道具や衛生物品も不足していた。そのためトイレや施設内の清掃を行い、特に泥対策、呼吸器感染症予防のためのマスク着用、消化器感染症予防のための手指衛生の徹底を提案した。その後も市の対策本部と連携を取り集団感染症の発生もなく経過でき安堵している。今回の対応から災害対策として感染制御のためのICTの役割が明確にされることで、今後更に活動が広がると考える

DMAT活動

市立宇和島病院 DMAT看護師 佐野 郁

当院DMATチームは、7月8日病院長と統括DMAT医師の指示にて災害対策本部・DMAT本部を設置した。県内外よりDMAT10チームが加わり、南予圏域の病院・老健施設の被害状況や避難所アセスメントなどを行った。その状況はタイムリーにEMISへ入力し、県の災害対策調整本部と連絡を密にした。医療支援のニーズは無かったが、断水の長期化に対して、給水の需要供給や熱中症対策への対応を行い、避難所の感染対策に対しては、当院のICTに依頼し保健師との連携を図り対応した。7月12日市役所・保健所に対して引き継ぎを行い、当院での本部活動を終了した。

石田昌宏議員被災地訪問の足跡



喜多医師会病院



大洲中央病院



大洲記念病院



市立大洲病院



西予市立野村病院



西予市民病院



宇和島市立吉田病院



宇和島徳洲会病院



市立宇和島病院



鬼北町立北宇和病院



旭川荘南愛媛病院



JCHO宇和島病院

日本看護連盟通常総会に参加して

松山市民病院 富永 祐子

6月5日(水)ザ・プリンスパークタワー東京で日本看護連盟通常総会が開催されました。全国から多くの連盟会員が集まり、同じ思いを持つ会員の結束力をさらに強める場となりました。会場の熱気と雰囲気には圧倒されながら、草間会長の挨拶、たかがい議員の話を聞くことができました。残念ながら石田議員は別の会議のため欠席でしたが、決起集会では石田議員のカラーである赤いタオルを持ち会場が一つとなり盛り上がりました。

来年は参議院議員選挙の年です。石田議員の選挙を盛り上げるためにも、今私たちができることを考え、ひとつずつ取り組んでいくことが大切であると感じました。集まった連盟会員の思いは同じであり、看護政策の実現を通すためにはなくてはならない組織です。「ベッドサイドから政治を変える」をスローガンに、日本の将来を見据えた活動ができるのは私たち看護師だと思っています。

愛媛県看護連盟通常総会に参加して

医療法人天真会 南高井病院 梶原若奈



去る6月17日、愛媛県看護連盟通常総会ならびに石田まさひろプラス井原たくみの会に出席させていた



だきました。慢性期病院である当院において、今年度の診療報酬改定より夜間看護加算・看護補助加算が該当するようになり、看護職が働きやすい環境を推進するためには、政治の力が必要であると感じていたため大変感慨深い総会でした。午前中の石田まさひろ参議院議員の特別講演の中でも慢性期看護の重要性を話されており、とても心強く感じました。

午後からは堅苦しい感じを全く受けない、

石田まさひろ参議院議員、井原たくみ参議院議員のお話を楽しく聴講しました。

石田議員は、あえて政治色を除いた「文学」をテーマにし、道



後温泉に縁のある、額田王、天武天皇、天智天皇の歴史的な背景や関係性と、「熟田津に船乗りせむと月待てば潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな」(万葉集 巻1・8)の解釈を通して、多面的に物事を見る大切さをお話してくださいました。井原議員は、ご自身が参議院議員に至る過程を、ユーモアを交えてお話して下さり、お人柄に大変親しみをもちました。何より、お二人の仲の良い雰囲気で会場が温かくなったように感じました。政策だけではなく議員個人の人物や信条、価値観を理解する大切さを知り、応援していこうという気持ちが強くなりました。今後も社会の流れや、看護を取り巻く政策に関心を持ち、看護連盟の活動を盛り上げていきたいと思っています。



日本看護協会・連盟・国会見学に参加して

十全総合病院 越智 美香

8月1日・2日、日本看護協会・日本看護連盟見学・国会見学・議員との懇談に参加した。1日目の午前中は、看護協会の見学に行き、立派な建物や今までの看護師の歴史について説明を受けた。

午後からは日本看護連盟本部の見学に行き、榮木幹事長と青年部幹事長の前田氏と懇談をおこなった。現在、青年部活性化ワーキングでは青年部の再編成をし、ネットワーク作りをおこなっているそうだ。その理由は青年部のみで他県との関わりがなかったためである。その中でブロック会やポリナビは全国との研修では大差があまりないことにも気が付いたとのことだった。ワーキンググループで青年部がそれぞれの県で活動しやすくするために、青年部の特色や役割を明確にし、全国の青年部の役員名簿を集めてネットワーク作りを行っているそうだ。今年は作ったネットワークでアンケートをおこなっていく予定とのことだった。他の取り組みはブロック会議の前後にポリナビ開催、ブロック会で会議して現在困っていることについての意見の聴取などを行う予定であると話してくれた。

愛媛での青年部の取り組みについては、20～30代は政治に関しての苦手意識が強く、資料で文章が羅列されていても理解できない、エピソードとしてどういう活動をおこなっているかのほうが若者に響くことがあるという話になった。政治に対してのマイナスイメージを払拭できることや投票したいと意識できるような研修内容、若者にとってのメリットについても検討する必要があるそうだ。私は、どうしたら看護連盟に加入し続けてもらえるかも考えながら活動をおこなう必要があると思う。前田氏のグループでは、議員の

石田氏と対談した内容をネット配信し他県の人も見えようにする予定のため、石田氏がどのような人なのか施設ごとの青年部の人に発信できるように、私たちも積極的に関わっていくことが大事だと思われる。

2日目は国会議事堂や自民党会館、総理官邸などの見学に行った。

今回2日間参加してみて、今までの青年部での活動を行っていく中での問題点は都市部の東京でも同じ悩みであることが分かり、前田氏との懇談はいい機会になったと思う。また、自分も青年部の役割について再度振り返りをおこなうこともできた。

普通にはあまり体験できないことや国会議員と会うことができ、現在の自分の立場に誇りを持ち、当院での看護連盟活動に役立てていきたいと思った。

また、看護師の歴史について知り、国会に議員を送る必要性についても再度理解することができた。自分が政治について知る事で他の人への熱伝導となれるように、今後も青年部のメンバーや病院の活動をおこなっていききたいと思う。



新規入会者研修に参加して

平成30年7月18日(水) 10:00～12:00 看護研修センター

愛媛大学医学部附属病院 岡添 友紀



7月18日に新規入会者研修に参加させて頂きました。研修を受講するまでは、授業で触れたことはあるものの、看護連盟の活動に関し具体的に想起することができませんでした。

今回の研修では、看護連盟が国政の場に看護職の代表を送り、看護師の労働環境や、看護教育に関して、

政治の場に働きかけて改善を図っていることが分かりました。看護連盟の活動により、よりよい環境でよりよい看護を提供することができ、患者さんの安全安楽を守ることに繋がると学びました。

次に、今の私たちに何が出来るのか、グループワークを通して考えました。まずは、連盟の活動の必要性を理解すること、そして選挙活動に参加することが必要であると感じました。今の私に出来ることは小さなことかもしれませんが、出来ることから行っていきたいと思いました。



東予地区合同リーダー研修に参加して

平成30年7月28日(土) 10:00~12:00 西条商工会議所

県立今治病院 大西 卓也

私は看護師になって6年目になりますが、もともとは一般企業で営業職として働いていました。以前の会社では仕事が終わるのがとても遅く、毎日疲れがたまっていく一方でした。そんな中「リーマンショック」となり、社会全体が先行きの不安をかかえるなか、自分としても今後どうすれば安定して過ごして行けるかという考え、やはり手に職をつけるしかないと思い、看護師になることを選びました。というのも私の周りには何人か看護師がおり、その人たちに聞く限りでは給料も安定していて、夜勤や残



業もあるものの、ある程度報われると聞いていたからです。実際に転職して、以前の会社よりも待遇が恵まれていることに感謝する日々です。

今回リーダー研修に参加して、このように恵まれた待遇を享受できるのも、選挙を通じて看護師の代表を国会議員として送り出しているからだ実感しました。高齢化が進む中、今後も看護師の待遇や職務改善の必要性は年々増していくと思います。今後も国政に現場の声を反映させてもらえるように、私たち看護師一人一人が選挙や国政を意識して行くことが重要だと難じました。

「看護の現場で生きる社会人基礎力とは」の研修に参加して

平成30年8月4日(土) 14:00~16:00 伊予鉄会館

道後温泉病院 宮崎 晃子



長年働いてきた私は最初にこの研修のテーマを聞いて、コミュニケーションや規律を守るなどの基本的な事だとイメージし、すでに身につけているのではと思う部分がありました。しかし今回この研修に参加し、社会人基礎力は若いスタッフや新人だけに必要なことでなく、指導する立場にあっても常にもこの力が自分の基盤となるのだと思いました。

研修では自己チェックシートをつけることで、得意な部分、苦手な部分が分かり、自分の課題が明確になったと感じました。私の場合は社会人基礎力の能力の中でも実行力(アクション)や計画力(シンキ

ング)が十分に発揮できていないという結果でした。自分自身の評価に役立つ学びができました。研修を受け社会人基礎力は入職したばかりの時に必要なだけでなく、経験の中で培われる部分が大きく、変化させ、成長させ続けていく事が大切であると感じられました。自分自身磨きをかけ、社会人基礎力の原点である「自分で考え、選択し、行動する」力を伸ばし続けていけるようにしていきたいと思います。また新人、スタッフへの手本となり、チームワークに貢献できるように今回の学びを活かしていきたいと思います。



第4回中国・四国ポリナビワークショップ in 島根

平成30年9月1日(土) 13:00~16:30 ホテル白鳥

市立大洲病院 上野 晋也



島根県で開催された第4回中国・四国ブロックポリナビワークショップに参加した。ポリナビワークショップに参加するのは、昨年の愛媛県で開催された第3回に引き続き2回目である。今年度、愛媛県看護連盟では、若手の会から青年部へと名称の変更が行われた。私も今年度から南予ブロック・副ブロック長として活動する事となった。7月の西日本豪雨災害にて今回参加を見送る選択もあったが、開催の目的である「看護の未来を語り、若手看護師の『縁』をつなぐ」に興味をいただき参加する事とした。



現在、日本が抱えている2025年問題として、看護職だけでなく、どんな職種であろうと人材不足に直面している。実際、町に出ると店舗では、スタッフ募集の札を目にしない日はなく、すでに日本は人材不足であると実感している。

参議院議員石田まさひろ先生の講演でも人材不足に対して、外国人看護師やAIの導入について講演を頂いた。講演を聴き、私はこれから看護師としてどうするべきか、看護の未来について問われたように感じた。現在、入院される患者の大多数は高齢者であり、中でも同病名で再入院を繰

り返す患者も多い。そのような患者に対して入院中に看護師ができる事は限られており、多職種との連携、協同が重要である。多職種が協同して介入する事により再入院する患者が減少する事で、看護師への負担、メンタル面での負担は軽減される。私たち医療職の考え方、介入の方法しだいで変わるものもあるのではと感じた。

現在、全国の看護師の約半数は40歳以下の若手である。グループワークでは、若手が創る看護の未来について話し合う機会があった。参加者は中四国9県から、看護師1年目から30歳後半と、様々な方が参加されていた。私たちの班は、これから目指す看護師像について話す事とし、スキルアップを目指す者、現場で学び今後について考えたい者とさまざまであった。皆さん知識を深めたい、現状を良くしようと考えている方が多く看護師の未来も暗いものばかりではないと感じた。

今回、愛媛県より青年部メンバー11名が参加し東中南予のメンバーとも交流し『縁』を深めることができたと考える。南予から、そして愛媛へと看護連盟を盛り上げていきたいと考える。



退任のごあいさつ

新居浜第二支部長 曾我 敏子

この度、新居浜第二支部長を退任させて頂くことになりました。各施設の責任者の方々をはじめ会員の皆様には大変お世話になりました。連盟活動は会員一人ひとりの力を結集できた時に大きな力に変化します。更なる団結をめざし頑張ってください。

中予第二支部長 松本久美子

連盟会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は平成22年から中予第二支部幹事長、平成26年2月から同支部長を勤めさせていただき長らくご芳情を頂きましたが、平成29年12月付をもちまして退任させて頂きました。政治家を目指すとはいえ急な退任で皆様方には大変ご迷惑をお掛けしお世話になりましたことをお礼かたがたご挨拶申し上げます。今後とも変わらぬご厚情ご鞭撻を頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

中予第四支部長 坂本 謙二

この度、役員を退任することになりました。在任中はご迷惑をおかけしてしまったことも少なからずあったであろうと実感しております。しかし、皆様と一緒に協力し合った時間は、私にとって大変に貴重な経験になりました。ありがとうございました。

中予第八支部長 川本かよ子

平成27年中予第八支部設立より3年間支部長を務めさせて頂きました。活動を通し国会議事堂・自民党会館などの見学や国会議員との懇談などの貴重な経験を得る事ができました。今後は一会員として連盟活動を応援して行きたいと思います。

南予第二支部長 楠 多佳子

看護連盟南予第二支部長として、八年間お世話になりました。たかがい恵美子、石田昌宏議員の選挙では、たくさんの方々と力を合わせて当選という大きな成果を得る事が出来心より感謝しています。これからは、南予でささやかな応援をしていきますのでよろしくお願い致します。ありがとうございました。

◆支部長交代のお知らせ

支部名	支部長	支部名	支部長
新居浜第二支部	曾我 敏子 → 守屋 昭子	中予第八支部	川本かよ子 → 川本 美加
中予第五支部	亀岡 玉子 → 笹山千代美	南予第二支部	楠 多佳子 → 近藤 伸

「石田まさひろを応援する会～チームえひめ」

石田議員は、全国の看護現場を訪問して現場の声に耳を傾けています。愛媛県看護連盟は、応援する会の親会員（連盟会員）入会率100%を目指して支援の輪を広げています。

現在の親会員（連盟会員）の入会率は66.5%です。

ぜひ入会して応援しましょう。

入会申込書が必要な方は、各支部の支部長へお声をおかけください。



編集後記

この度の西日本豪雨災害により被災された方々には、こころよりお見舞い申し上げます。このような時にこそ会員一丸となって看護の力を発揮しましょう。

広報委員と担当役員の交代がありました。

◎広報委員 大谷（委員長）、西村、宇都宮、武島、篠浦（新）

◎担当役員 泉、大仲（新）、西岡（新）、矢野（新）